

HACHIJO 2018

はちじょう 2018

東京都八丈町勢要覧



目次

黒潮に浮かぶ島 八丈島

町歌	2
八丈島の概要	3
島への交通	4
町のシンボル	5
交流	6

わたしたちの「はちじょう」

花と緑と温泉の島	7
心と体を癒やす地球の恵み 温泉	9
クリーンアイランドを目指す町	11
みどり豊かな町	13
海洋を生かす町	14
いきいきとした町	15
あたたかい町	16
躍動する町	17
住民が主役の明るい町	19
文化の香り高い町	21
歴史を生かす町	22
三つの始祖伝説	23
八丈島の歴史	24
主なできごと2018	25
地域おこし協力隊・国際交流員	26

町歌

町民のみなさんに末永く愛され、八丈町を元気づけるという願いを込めて、「手作りの町歌」をテーマに町制施行60周年を記念して作られました。

歌詞とメロディーは公募によって寄せられた作品から選考を行い、記念式典で大賀郷中学校音楽部とシンガーソングライターのEPOさんが最終候補曲2曲を披露し、参加者による人気投票で八丈町の歌が誕生しました。

八丈町歌（八丈町の歌）

作詞 保岡直樹
作曲 高橋一美
編曲 佐久間ともか

碧い宇宙に抱かれて
 恵み豊かな海と島
 燃える太陽 育むいのち
 心やすらぐ わが郷土
 希望と笑顔に 満ちあふれ
 しあわせ彩る 八丈町よ
 緑さわやか フェニックス
 花は優美な ストレチア
 紡ぐ歴史に 綾なす文化
 まねく旅人 湯の香り
 大空みあげて アカコッコ
 平和を奏でる 八丈町よ
 熱い鼓動を はずませて
 夢が燦めく 風と波
 ごらん元気に 羽ばたく魚
 虹を描いて 春を呼ぶ
 力を合わせて たくましく
 未来へ躍進 八丈町よ



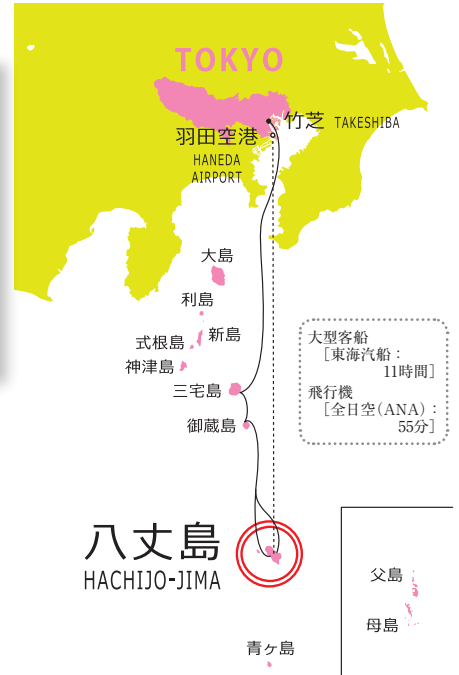
町歌選考経過

平成26年

- 2月21日 第1回「町歌」選考委員会開催（実施計画策定等）
- 3月 「町歌」歌詞募集（応募総数36作品）
- 4月30日 第1回ワーキング開催（候補歌詞4作品の決定）
- 5月19日 候補歌詞4作品の人気投票
第2回「町歌」選考委員会開催（歌詞の決定）
- 6月 「町歌」曲募集（応募総数16作品）
- 7月10日 第2回ワーキング開催（候補曲4作品の決定）
- 8月 候補曲4作品の人気投票
- 9月18日 町立小・中学校、都立八丈高校および老人クラブ
代表による好感度調査
第3回「町歌」選考委員会開催（候補曲2作品の決定）
- 11月1日 八丈町町制施行60周年記念式典において2作品を
発表
最後の人気投票を記念式典で行い、決定（「町歌」
発表）
- 12月8日 八丈町議会定例会において、八丈町歌制定議案
が可決され、同日告示し、八丈町歌として指定
（施行：平成27年1月1日）

島への交通

八丈島への空路は、東京・羽田空港より全日空のジェット機エアバス320型機（166席）とボーイング737-800型機（166・167席）が約55分で結んでいます。また、東京愛らんどシャトルが八丈島を基地にして青ヶ島、御蔵島、三宅島、利島、大島とアクセスしています（毎日就航）。海路は、東海汽船の大型客船「橘丸」が東京・竹芝桟橋から毎日就航しています。竹芝を夜に出発し、三宅島・御蔵島を經由して約11時間で八丈島に到着します。



八丈島海路の沿革

- 1910 (明治43年) 東京湾汽船会社と八丈島有志代表浮田鉄吉氏、山田喜代吉氏が毎月1回以上の航海契約を結ぶ(芙蓉丸96トン)
- 1922 (大正11年) 5月 八丈丸(345トン)三宅島・八丈島就航
- 1925 (大正14年) 4月 八丈丸、三根沖で暴風雨のため遭難沈没(船員13名死亡)
- 1926 (昭和元年) 4月 三宅島・八丈島、東京府知事の命令航路となる
- 1930 (昭和5年) 10月 東京から八丈島寄港、小笠原父島・母島に至る定期航路開始。主として桐丸(531トン)が就航
- 1941 (昭和16年) 戦時下、桐丸の月6回の就航が萩丸月3回の就航になる
- 1945 (昭和20年) 戦時下、4月16日東光丸撃沈される(約120名死亡)
- 1947 (昭和22年) 6月 黒潮丸(496トン)東京-八丈島間就航
- 1948 (昭和23年) 3月 第3旭丸、八丈島藍ヶ江港で遭難
- 1957 (昭和32年) 東海汽船八丈島代理店を直営に切り替え、八丈島支店を設置
- 1965 (昭和40年) 8月 神湊港底土岸壁完成、年間通して約90%の接岸が可能となる
- 1968 (昭和43年) 10月 貨物船弥栄丸(330トン)三宅島・八丈島間に就航
- 1971 (昭和46年) 6月 ふりいじあ丸(2,286トン)が就航
- 1978 (昭和53年) 4月 すとれちあ丸(3,708トン)が就航
- 1983 (昭和58年) 3月 ふじしま丸(149トン)八重根港入港
- 2002 (平成14年) 5月 さるびあ丸(4,973トン)が就航
- 2012 (平成24年) 2月 八重根港船客待合所供用開始
- 2014 (平成26年) 6月 橘丸(5,681トン)が就航
- 2014 (平成26年) 7月 神湊港(底土)船客待合所供用開始

八丈島空港の沿革

- 1953 (昭和28年) 青木航空就航(不定期)
- 1954 (昭和29年) 飛行場開設、青木航空セスナ機就航
- 1955 (昭和30年) 5月 日本ヘリコプター輸送(株)の双発機(11人乗)週2回就航
- 1956 (昭和31年) 4月 青木航空が日本遊覧航空と社名変更
- 1957 (昭和32年) 12月 日本ヘリコプター輸送(株)が全日本空輸(株)と社名変更
- 1958 (昭和33年) 12月 八丈島空港(第3種空港)設置許可
- 1959 (昭和34年) 日本遊覧航空のヘロン機(15人乗)が就航するようになり、初めて客室乗務員が乗るようになる
- 1960 (昭和35年) 6月 全日空DC-3型機(30人乗)週2回就航
- 1961 (昭和36年) 日本遊覧航空のヘロン機が名古屋へ就航
- 1962 (昭和37年) 日本遊覧航空が藤田航空と社名変更
- 1963 (昭和38年) 5月 八丈島空港供用開始
- 1963 (昭和38年) 8月 藤田航空ヘロン機、八丈富士に激突(19名死亡)
- 1963 (昭和38年) 11月 藤田航空、全日空と合併し、八丈空路は全日空の運行となり、フレンドシップ機(40人乗)就航
- 1969 (昭和44年) 4月 YS-11型機(64人乗)就航
- 1972 (昭和47年) 6月 滑走路延長1,200mから1,500mへ供用開始
- 1973 (昭和48年) 3月 名古屋定期路線開始
- 1975 (昭和50年) 12月 第2次拡張計画決定
- 1982 (昭和57年) 4月 滑走路1,800m×45m供用開始
- 1982 (昭和57年) 4月 B737型機(126人乗)就航、ターミナルビル供用開始
- 1985 (昭和60年) 5月 エアーニッポンにYS-11型機路線移管
- 1985 (昭和60年) 11月 11月30日をもって名古屋定期路線休航
- 1988 (昭和63年) 4月 エアーニッポンにB737型機路線移管
- 1989 (平成元年) 8月 ヘリコプター第1回試験運行(8/12~8/19)
- 1989 (平成元年) 7月 八丈島-東京間のジェット化促進
- 1993 (平成5年) 7月 ヘリコプター運航管理事務所及び格納庫完成
- 1993 (平成5年) 8月 ヘリコプター運航開始
- 2000 (平成12年) 7月 B737-400型機(170人乗)就航
- 2004 (平成16年) 10月 滑走路2,000m供用開始
- 2005 (平成17年) 10月 エアバス320型機(166人乗)就航
- 2005 (平成17年) 10月 大島經由便運行
- 2009 (平成21年) 10月 大島經由便廃止
- 2012 (平成24年) 10月 B737-800型機(166・167人乗)就航

町のシンボル



町の紋章

この紋章は「躍進八丈」の意義を表現しています。八丈の文字をそのまま鳥形に意匠することにより、八丈が希求する永遠の平和と未来永劫やむなき進展とを象徴したものです。

(昭和32年10月制定)

町の鳥／アカコッコ

日本特有の美しいツグミの一種で伊豆諸島とトカラ列島だけに生息します。翼長平均12センチほどのかわいらしい小鳥で、広葉樹林などに巣を作り、昆虫や木の実などを好んで食べます。



町の花／ストレチア

南アフリカ喜望峰が原産地で、学名をストレチア・レギネといいます。ばしょう科に属し、花は葉のつけねから極めて優美華麗な長い花茎を出し、その花の形から“極楽鳥”を連想します。



和名は“しんのうやし”で、原産はインドシナ。八丈島では大正10年に雌雄2本を移入したのがはじめて、太平洋戦争で一時中断しましたが、戦後、花き園芸が復興するなかで、文字通り「不死鳥」のようによみがえり、世界でも有数の栽培地となりました。

町の木／フェニックス・ロベレニー



八丈島では「ハルトビ」と呼ばれており、ハルトビ漁は、明治時代から盛んに行われ、羽根のあるおめでたい魚とされ、食べられてきました。ハルトビは鮮魚のほか、塩干し、くさ

や、燻製などに加工され、土産品として珍重されています。春先になると、産卵のため伊豆諸島南方から島伝いに北上することから、別名「春告魚」ともいわれ、八丈島周辺への回遊も多く、漁獲高でも八丈島漁業の重要な地位を占めています。

町の魚／ハマトビウオ

交 流

姉妹都市

ハワイ州・マウイ郡

日本のハワイと呼ばれた「八丈島」と、溪谷の島「マウイ島」が、美しい永遠の友情を築き、世界平和に貢献しようという理念の元、姉妹都市提携の調印式が昭和39年8月10日マウイ島において行われました。以来、今日まで双方の交流が盛んに行われています。



姉妹島

沖縄県南大東島

八丈島民が開拓に成功した南大東島と昭和57年1月23日に姉妹島提携を結びました。

1月23日は八丈島からの開拓者が上陸の一步を印した記念日で、南大東島には八丈島にゆかりのあるものが多く残っています。



友好都市

東京都小笠原村

小笠原諸島返還記念日の昭和63年6月26日に八丈町と小笠原村とが友好都市提携を結びました。また、毎年6月には八丈町からの小笠原親善訪問も行われています。



～島を原色に彩る四季の花々～



フリージア

花と緑と



キダチアロエ ストレチア

アガパンサス

ガクアジサイ

ハイビスカス

～全ての生き物にやさしい緑の楽園～

温泉の島

フェニックス・ロベレニー

ヤコウタケ

ソテツ

モンステラ

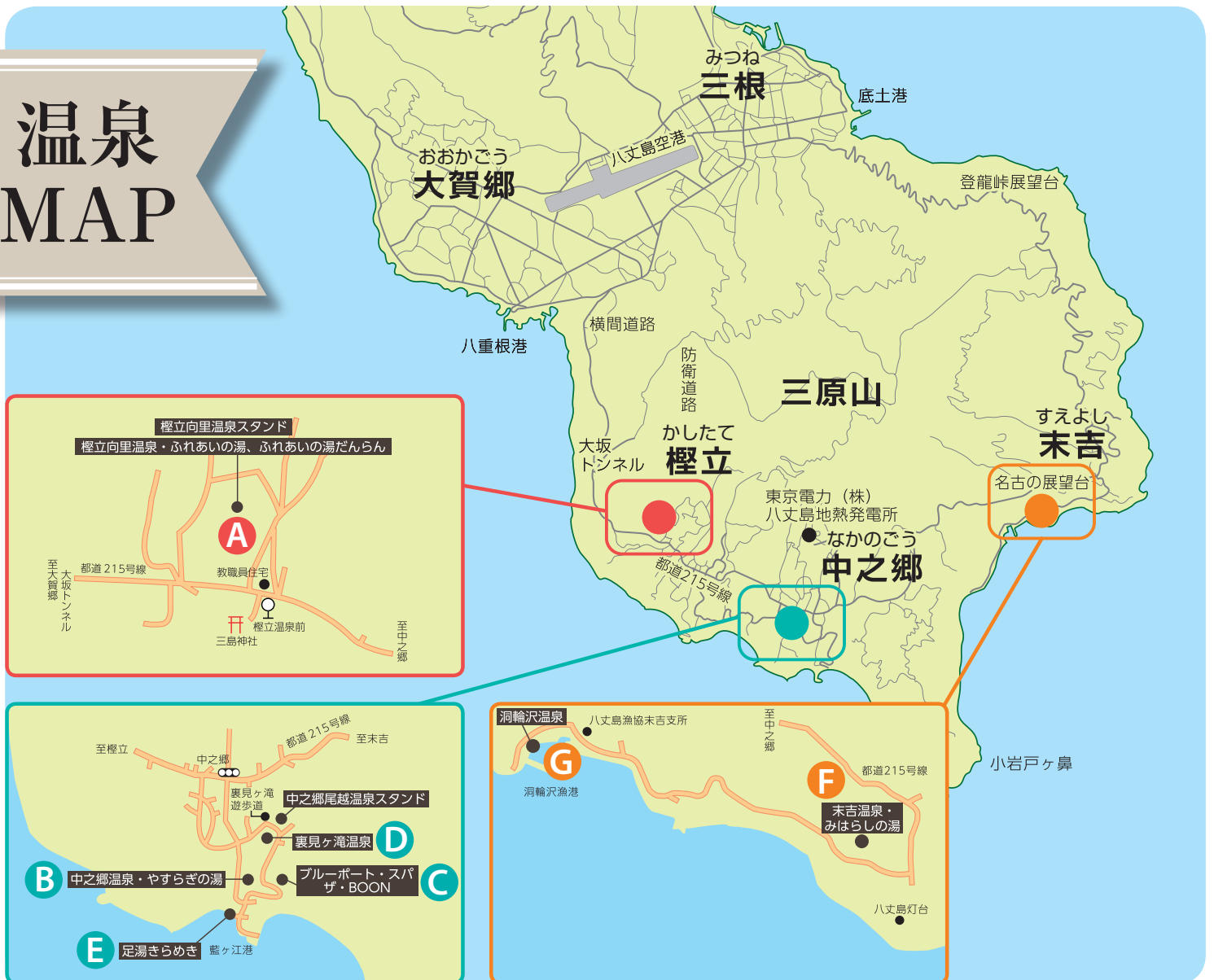
ヘゴンダ

あしたば

心と体を癒やす 地球の恵み 温泉



温泉 MAP



榎立向里温泉 ～ふれあいの湯～

A



毎日利用する人に「自分の家の風呂には入れないよ」と言わせてしまうほど人気があります。建物は八丈島の杉や檜を使用しており、総檜造りの大浴場と露天風呂を備えています。
平成22年4月に、新源泉に切り替えました。

源泉名：榎立向里温泉
泉質：ナトリウム 一塩化物強塩温泉
時間：午前10時～午後10時（入場は午後9時30分まで）
定休日：月曜日（休日の場合は営業）
料金：大人300円 小学生100円
八丈町に住所を有する70歳以上の方100円

◆浴槽はかけ流し方式です。また、源泉の温度が高いため加水をしています。

中之郷温泉 ～やすらぎの湯～

B



海の展望を活かした温泉浴場。浴槽からの眺めは黒潮の海を一望できるとあって「お湯よし、眺めよし、料金よし」と三拍子揃っている温泉として人気を集めています。空気の澄んだ天気の良い日は、お湯につかりながら67km先の青ヶ島を見ることもできます。

源泉名：中之郷温泉
泉質：ナトリウム 一塩化物温泉
時間：午前10時～午後9時（入場は午後8時30分まで）
定休日：木曜日（休日の場合は営業）
料金：大人300円 小学生100円
八丈町に住所を有する70歳以上の方100円

◆浴槽はかけ流し方式です。また、源泉の温度が高いため加水をしています。

ブルーポート・スパ ザ・BOON

C



“ザ・BOON”とはお客様に「ざっぶーん」とお風呂に入って、ゆっくりと温泉を楽しんでもらいたいという思いを込めて名付けられました。設備が充実しており、サウナ室、水風呂が完備されています。

源泉名：中之郷尾越温泉
泉質：ナトリウム 一塩化物強塩温泉
時間：午前10時～午後9時（入場は午後8時30分まで）
定休日：水曜日（休日の場合は営業）
料金：大人500円 小学生200円
八丈町に住所を有する70歳以上の方 200円
レンタル料金：バスタオル 100円
アロハシャツ（男性用） 200円
ムームー（女性用） 200円

◆浴槽は循環方式です。また、源泉の温度が高いため加水をしています。

中之郷尾越温泉 ～裏見ヶ滝温泉～

D



緑に囲まれた谷あいであり、滝を見下ろしながら入浴ができる野趣あふれる露天温泉。男女混浴のため、着用の着用が必要で、せっけん・シャンプーなどは使用できません。中之郷自治会が管理運営をしており、温泉スタンドも併設されています。

源泉名：中之郷尾越温泉
泉質：ナトリウム 一塩化物強塩温泉
時間：午前9時～午後9時
定休日：年中無休
料金：裏見ヶ滝温泉・温泉スタンド 無料

◆裏見ヶ滝温泉はかけ流し方式です。また、源泉の温度が高いため加水をしています。

足湯きらめき

E



藍ヶ江港の高台にあり、眼下に大海原を望みながら足をつければ気分爽快。また、1月頃には水平線に沈む夕日も楽しめます。「きらめき」の名称は、藍ヶ江のきらめいた海のイメージから名付けられました。この温泉は「ナトリウム一塩化物温泉」で、神経痛や関節痛、冷え症などに良いとされています。

源泉名：中之郷温泉
泉質：ナトリウム 一塩化物温泉
時間：午前11時～午後9時
定休日：年中無休
料金：無料

◆浴槽はかけ流し方式です。加水をする場合があります。

末吉温泉 ～みはらしの湯～

F



開放感あふれる露天風呂や展望風呂が魅力の温泉。太平洋の大海原を見渡せる絶景地にあり、夜は満天の星空を眺めながらゆったりと入浴することができます。偶数日と奇数日で男湯と女湯が入れ替わり、それぞれ違った眺望を楽しむことができます。また、湯船からご来光が望める、元旦の初日の出臨時営業も大好評です。

源泉名：末吉かん沢温泉
泉質：含よう素 ナトリウム 一塩化物強塩温泉
時間：午前10時30分～午後9時30分（入場は午後9時まで）
定休日：火曜日（休日の場合は営業）
料金：大人500円 小学生200円
八丈町に住所を有する70歳以上の方200円

◆浴槽はかけ流し方式です。加水をする場合があります。

洞輪沢温泉

G



風光明媚な洞輪沢漁港に隣接し、泉質は他の温泉と異なります。手軽に楽しめる温泉の元祖として広く親しまれています。八丈島唯一のサーフスポット、汐間海岸の近くとあってサーファーの利用も多いのが特徴です。この温泉ではせっけん・シャンプーなどは使用できません。

源泉名：洞輪沢温泉
泉質：カルシウム・ナトリウム 一炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩温泉
時間：午前9時～午後9時
定休日：月曜日
料金：無料

◆浴槽はかけ流し方式です。源泉のお湯に対し加温や加水(湯)をしていない温泉です。

クリーンアイランドを 目指す町

～クリーンエネルギーのモデル島を目指して～

時には八丈島に過酷なほどに大きな被害をもたらす強大な自然エネルギーは
技術革新によって、今やこの島に無限の恩恵をもたらす可能性を秘めています。
地熱発電規模の拡大に取り組み、熱を利用した産業振興など、地熱資源の活用
を目指します。



八丈島地熱発電所

全国離島初、しかも東京電力(株)としても初めての地熱発電所が平成11年3月に運転を開始しました。地熱発電は出力を変化させることが難しいため、ベース電源(3,300kw)として運転を行い、八丈島の電力需要に合わせて既存のディーゼル発電機を追加運転させています。



八丈島地熱館

平成25年8月よりリニューアルオープンしました。

地熱発電所の敷地内にあり、地熱発電のしくみや八丈島の成り立ちや魅力を、映像や体験コーナーを通して知ることができます。



～豊かな自然に包まれた快適生活空間～

自然環境を大切に守り、クリーンアイランドを念頭に、生活文化、教育、社会福祉、産業等の基盤整備を進め、自然と調和したみどり豊かな町づくりを目指します。



ふれあい牧場

みどり豊かな町



唐滝散策路

裏見ヶ滝

八丈植物公園

きよん

ブラザ公園

クロアシアホウドリ

八丈島の先人たちは古くから広大な太平洋の領域に雄飛し、その海は私たちに豊かな恵みを与え続けてきました。海洋の活用をさらに推し進め、島の経済の活性化を目指します。



ザトウクジラ
(写真提供 東京海洋大学鯨類学研究室)

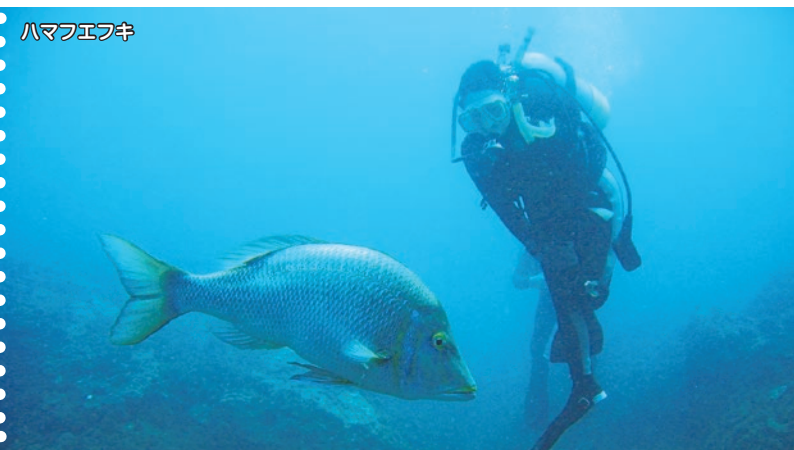


ザトウクジラ調査

海洋を生かす町



ハマトビウオ



ハマフエフキ



産業を振興して地域経済を活性化していくことは、最も重要な課題のひとつです。
産業基盤の確立を図り、働くことに喜びのあるいきいきとした町づくりを目指します。



体操

いきいきとした町



黄八丈加工品

八丈フルーツレモン

黄八丈反物

産業祭

島酒

あしたば

くさや工場工場見学

「情け島」と言われてきた八丈島。

個性の違う人間同士がお互いに尊重し合い、助け合いながら「共に支え合う心」を福祉、保健、医療などすべての施策の基本とし、あたたかい町づくりを目指します。



クリスマス会（子ども家庭支援センター）

あたたかい町



両親学級

ゲートボール大会

ブックスタート

躍動する町



長友ロード



町民体育大会

八丈島でスポーツしよう

スポーツを通して得られる経験を大切にして、心と体を健やかに育む環境づくり。
健康の増進、ならびに親和を図ることが地域の活性化に繋がり、元気あふれる躍
動する町づくりを目指します。



スポーツJVCバレー合宿



南原スポーツ公園空撮



小学生野球大会



富士グラウンド



パブリックロードレース

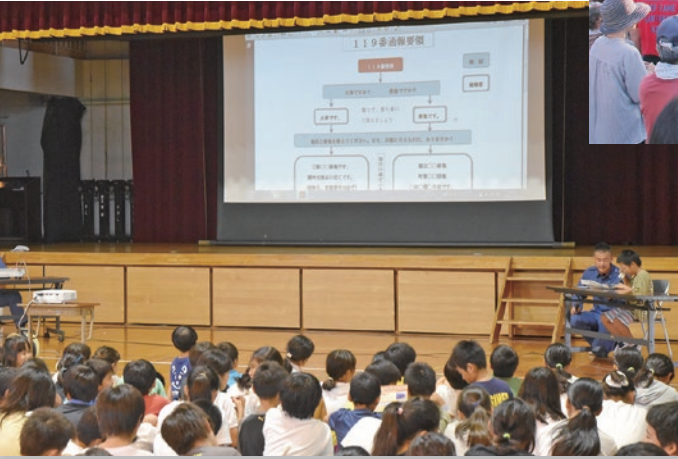


南原サッカー場

三根公民館落成



防災訓練



町民体育大会



住民が主役の明るい町





東京アイランドモーターショー

「住民が中心になり、住民の力に基づき、住民の願いを実現する。」
住民と行政が一体となって地域の発展に取り組み、住民が輝ける
明るい町づくりを目指します。



町民体育大会



八高生発表会



中学生議会



子育て写真展



伊豆諸島ウォーク



フリージアインフィオータ

生涯学習社会の実現を図るため、学校教育、社会教育の振興に努め、
八丈島を誇りに思える文化の香り高い町づくりを目指します。



島ことばかるた

文化の香り高い町



熱中小学校



町立図書館



為朝風



八丈島文化フェスティバル



ドヴァリヨナス音楽学校
FRIENDSHIP CONCERT

八丈太鼓や黄八丈に限らず、この島の各地に残る遺跡、伝承されてきた歴史は、すべて私たちのかけがえのない財産です。歴史やそれに関わる背景など、文化を探究すればするほど、島の貴重な財産としての価値がいっそう高まり、これを生かすことが、「地方の時代」における島の発展につながります。

黄八丈（織り）

歴史を生かす町

八丈支庁展示ホールに歴史民俗資料館再オープン



護神山神社



八丈太鼓



島酒の碑



宇喜多秀家と豪姫像



三つの始祖伝説

八丈島には系統を異にする三種の始祖伝説がある。八十八重姫伝説は、出雲系神話の類型で北方から伝来した内地系文化に属する。徐福伝説は西方から黒潮に乗った大陸系文化が流入したものである。丹那婆伝説は、西太平洋の諸族に広く認められる母子交会の始祖伝説の一類型で南方系文化に脈絡が認められる。一つの島に内地形、大陸系、南方系の三種類の異なった伝説が存在することは、八丈島の位置に関連する特異な文化形成の礎があったと思われる。

秦の徐福

秦の始皇帝が方術士徐福を東海に遣わし、不老不死の霊薬（仙丹）をもとめさせたという伝説がある。中国人渡来の伝説は古くから八丈島にあったものである。秦始皇帝の命を受けた徐福は、東海の島々を訪ねてまわったが、ついにその霊薬を手に入れることはできなかった。徐福は帰国を断念し、孝霊天皇紀元前219年に紀州熊野に着き、この地で生涯を終わったという。徐福に従って来た童男童女は、船に分乗し熊野から四散してふたたび漂流した。この船の一隻は八丈島に漂着したが、それには五百人の童女が乗っており、青ヶ島に漂着した一隻には五百人の童男が乗っていたという。これにより八丈島を女護島、青ヶ島を男島という伝えている。〈八丈島誌〉



優婆夷宝明神社

やそやえひめ 八十八重姫

事代主命は三宅島（宮家島）に宮居を定められたがその地で崩じた。妃の一人、八十八重姫は八丈島に渡って古宝丸（許志岐）を生んだ。この二方が八丈島創始の祖であるといわれている。八十八重姫（優婆夷姫ともいう）を祀る優婆夷大明神と古宝丸も祀る宝大明神はともに大賀郷の大里にあり、延喜式に列された八丈総鎮守郷社である。〈八丈島誌〉



丹那婆の墓

たなば 丹那婆

この伝説を記録した最初の文献は、享和前後の書と推定せられる綜嶼新話である。「いずれの時にやありし、八丈島に沓潮おこりて民戸とも湮没せしが、一妊婦のみ舟の艚にすがりて、大岡郷川口ヶ洞に助命して、一男子を出生し、後に母子交会して類葉繁栄す。」と記してある。

現在丹那婆の墓と称されるのは、末吉と大賀郷の二箇所にあるが、もとは三根にもあったようである。〈八丈島誌〉



八丈島誌

八丈島の歴史

歴史のあけぼの

八丈島の古代については、考古学会でも無人島であったとされていましたが、昭和37年夏、檜立で三原中学校の生徒が磨製石器を発見したことがきっかけとなって湯浜遺跡の調査が始められました。昭和52年には、倉輪遺跡が発見され人骨や装飾品なども出土しました。これらの遺跡調査から次のことが明らかになりました。

1. 八丈島には7,000年程前には人が住んでいたが、ずっと住み続けていたわけではない
2. 遺跡の規模、神津島産の黒曜石の矢じり、本土から持ち込まれた縄文式土器、丸木船を作ったと思われる石器などが出てきていることから、人々は島伝いに移ってまた移り去ったか、あるいは死に絶えた
3. 水が近くにあり、木の実や山芋、魚・貝・鳥などを入手しやすい場所に住居を構えていた
4. 倉輪遺跡時代に犬や猪の骨が多数出土していることから、以前に待ち込んだ猪が増え、狩りをしていてのではないかと考えられている

明治以前の八丈島

八丈島に統治機関が置かれたのは、室町時代の1338年(延元3年)足利氏の執事、上杉憲顕が奥山伊賀と菊池治五郎を代官として在島させたのが最初とみられています。

1440年(永享12年)に神奈川の領主、奥山宗林が支配しましたが、15世紀の末期に三浦・北条氏の勢力が入って以来、三氏の抗争が続き、1515年(永正12年)になって北条氏が勝利を得、全島を支配するに至りました。この権力争いの原因は八丈島特産の貢租「黄八丈」にあったとみられています。

江戸時代には八丈本島に三根村・大賀郷村・檜立村・中之郷村・末吉村、八丈小島には宇津木村・鳥打村と呼ばれる村が存在し、1604年(慶長9年)から明治に至るまで徳川幕府の支配下が続きましたが、この間にしばしば天災地変・飢餓・悪疫に襲われており、島民の生活は厳しく苦しいものでした。また、この265年間に約1,900人の流罪人が流されてきました。

明治以降の八丈島

伊豆諸島は明治元年に萑山県、同4年に足柄県、同9年に静岡県在所管となり、同11年1月11日に東京府に属して以来、東京都の今日に及んでいます。

明治41年に八丈本島の5ヶ村に島嶼町村制が施行されま

したが、八丈小島の2ヶ村には施行されず、昭和22年10月の地方自治法施行まで名主制度が続きました。

八丈町の成立

昭和29年10月1日、町村合併促進法により三根村・檜立村・中之郷村・末吉村・鳥打村の各村が合併して「八丈村」となり、翌30年4月1日、八丈村・大賀郷村・宇津木村の各村が合併して「八丈町」が誕生し、今日に及んでいます。

八丈小島の引き揚げ

昭和29、30年の合併により八丈町が誕生しました。このころ小島は、生活条件は向上したものの、その後は過疎化が激しく生活水準の格差も増し、高齢化が進み、開発計画も行き詰まり、住民もついに100名を割ってしまいました。

このようななかで全員離島の話が持ちあがり、昭和41年3月全員離島を訴え、八丈町議会に請願書を提出しました。請願を受けた町議会は、昭和41年6月20日、小島の実情調査を行い、同月22日にこれを採択しました。

請願内容を要約すると、

1. 電気・水道・医療の施設がない
2. 生活水準格差の増大
3. 人口過疎の傾向が甚大である
4. 子弟の教育のあい路

これにより、昭和44年1月より都の援助で全員が引き揚げ無人島となりました。

離島までの経緯

昭和41年3月	小島住民全員離島決意、八丈町議会に対し、「移住促進、助成に関する請願書」提出
6月	八丈町議会「請願」採択
7月	八丈町議会、小島引き揚げ対策協議会設置
昭和42年9月	八丈町対都「八丈小島住民の全員離島の実施に伴う八丈町に対する援助」陳情
昭和43年10月	土地買収価格(在住者坪当たり93円、不在者60円)などについて、住民との協議成立
昭和44年1月	離島開始
6月	鳥打小・中学校、宇津木小・中学校廃校全員離島する(24世帯 人口91人)

主なできごと2018

HEAD LINE 2018

1 / 4	八丈町消防団出初式
1 / 5	成人祝賀式
1 / 7	第37回八丈島パブリックロードレース
1 / 27・28	第28回八丈島産業祭
2 / 12~18	第29回八丈島文化フェスティバル
3 / 25~4 / 8	第52回フリージアまつり
4 / 2	八丈町地域おこし協力隊1名着任
4 / 7	三根公民館竣工式
4 / 7・8	フリージアインフィオラータ
6 / 3	クリーンデー
6 / 9	歴史民俗資料館 八丈支庁展示ホールに再オープン
6 / 22~27	小笠原親善訪問
7 / 20~22	第46回八丈島夏まつり (ミス八丈島発表会)
8 / 5	第22回八丈島浜遊び
8 / 5	第49回團伊玖磨記念 八丈島サマーコンサート
8 / 10	リトアニアより国際交流員1名着任
8 / 11	第19回八丈島納涼花火大会
8 / 25~26	東京アイランドモーターショー
10 / 5	八丈町防災訓練
10 / 7	第57回町民体育大会 (各地域)
10 / 20	八丈町表彰式
11 / 12	ドヴァリヨナス音楽学校 FRIENDSHIP CONCERT



東京アイランドモーターショー



三根公民館竣工式

祝 八丈町三根公民館竣工式



ドヴァリヨナス音楽学校 来島

平成30年八丈町成人祝賀式

成人祝賀式



ミス八丈島



地域おこし協力隊

島外からの人材を新たな地域社会の担い手として受け入れ、地域の持つ魅力の活性化と定住促進を目的として活動する「八丈町地域おこし協力隊」、昨年度から活躍中の2名に加え、今年度新たに1名が着任しました。



地域おこし協力隊 1名着任



地域おこし協力隊



廃校活用事業支援活動担当 今井

八丈島観光協会事務支援活動担当 出浦

黄八丈織物協同組合事務支援活動担当 峯尾

国際交流員

平成30年8月10日、リトアニア共和国より国際交流員1名が着任しました。
世界へ向けた八丈島の情報発信やインバウンド対応などに取り組んでいきます。



国際交流員



国際交流員 マンタス着任

リトアニア紹介ギャラリー

町民憲章

青い海原に囲まれた緑の島山の美しい自然と、古い歴史に恵まれたわたしたちは、この八丈島に住むことを誇りとし、八丈町の限りない発展と、明るく平和な町づくりをすすめることを願い、町民ひとりひとりの道しるべとして、この町民憲章を定めます。

わたしたち八丈町民は

- 郷土を愛し、環境をととのえ、みどり豊かな町をつくりましょう。
- お年寄りを大切にし、子供たちが健やかに育つ、あたたかい町をつくりましょう。
- 伝統をととび、教養を深め、文化の香り高い町をつくりましょう。
- はたらくことを喜び、産業の発展につくし、いきいきとした町をつくりましょう。
- きまりを守り、互いに助け合い、人情味あふれる明るい町をつくりましょう。



東京都八丈町勢要覧 「はちじょう2018」

平成31年3月 印刷・発行

編集・発行：八丈町企画財政課企画情報係
東京都八丈島八丈町大賀郷2551番地2
電話 04996-2-1120 URL <http://www.town.hachijo.tokyo.jp/>
印刷：明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233 (代)